



少年と犬

~ Endless World ~

II

AUTHOR KANTO

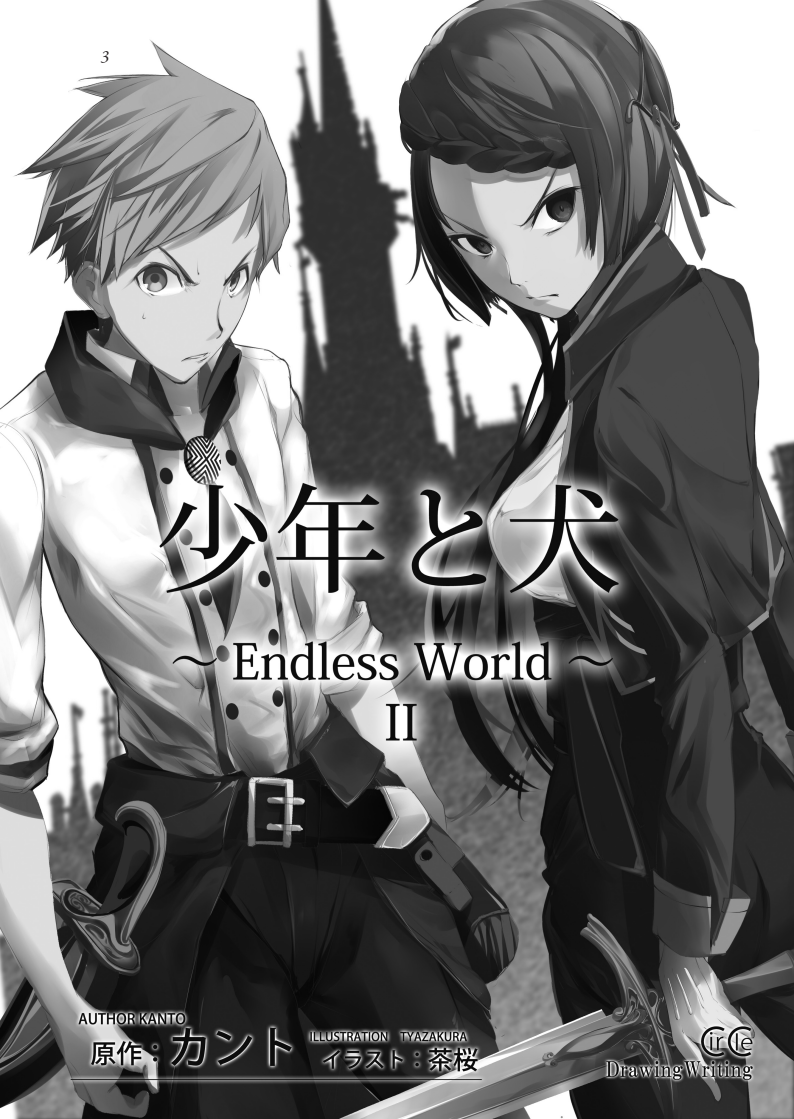
原作：カント

ILLUSTRATION TYAZAKURA

イラスト：茶桜

ir©

DrawingWriting



少年と犬

~ Endless World ~

II

少年と犬

~ Endless World ~

II

© DrawingWriting

原作：カント イラスト：水上二十歳

AUTHOR KANTO

原作：カント

ILLUSTRATION TYZAKURA

イラスト：茶桜



DrawingWriting

- 第一話 幕間く辿る最中に
- 第二話 彼方から来た者
- 第三話 彼方へと往く者
- 第四話 種火は静かに燃え移る
- 第五話 幕間く炎の足跡

第一話「幕間く辿る最中に」

「——これをお前が見てるって事は」

彼は溜息をつきながら、続けた。

「数ある可能性の中でも、事態は最悪なものに陥ってるってことだ。自分でも、話してて気が重くなるよ。その状況を思い描くだけで、な。

ただ、世界は滅ぶ運命にあった。それを一度脱したからって、二度目の来ない保証がどこにあったのか……」

傍では、焚き火がパチパチと声を上げている。闇の中、それ以外の明かりはなく、彼以外の人間もない。風も無く、鳥や虫の鳴く声も無い。世界から切り取られたような静寂と闇が、独りで話す彼を包んでいる。

「とにかく、なっちまったものは仕方無い。いいか、もっともつと深く潜れ。大異変なんて通過点でしかない。只管、潜るんだ。そうすれば、お前は『彼』に会うことになる。そしてその時、



理解することになるだろう。お前が追い続けたもの——滅びを拒絶する究極の調べ。つまり、『ヤサカニ』の正体を、だ。

ただ……そうだな。覚悟はしていてくれ。それを知った時、お前は——」